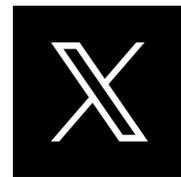


# 融合プロジェクト

「暮らしとコミュニティの再建・スマートな生活の実現に対しての私達の提言」

21班 山田来美 廣澤聖菜 飯田真悟  
中島あいり 久村純夏 瀬口慎太郎

# 1. どのような役割から考えたか



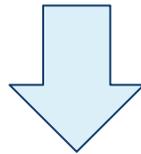
## 2. 私たちの提言

### 『SNSを利用した個人の情報発信』

**柱** 暮らしとコミュニティの再建

**時期** 震災発生後    **場所** どこでも(ネット利用のため)

**狙い** SNSのメリット 個人でも情報を発信できる  
企業との協力のメリット 信憑性の確保



細かく信憑性もある情報 確保

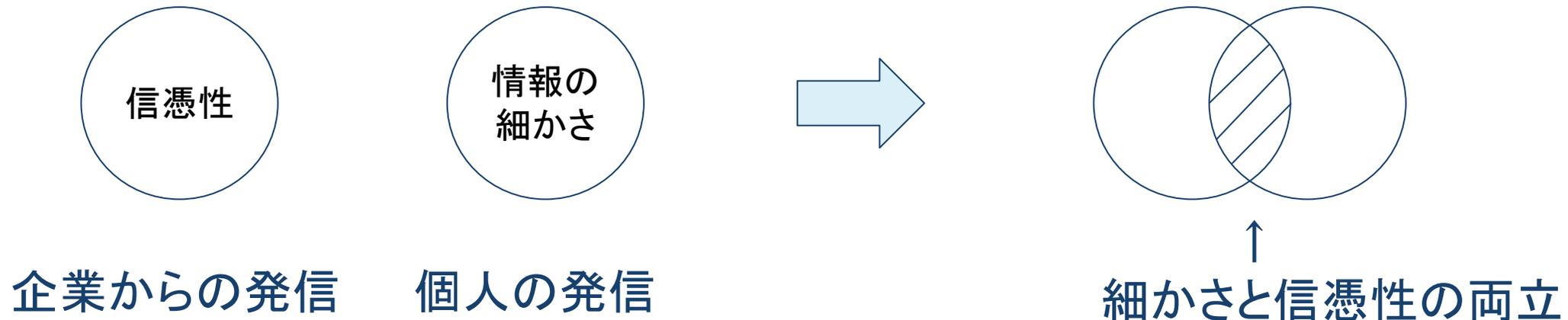
### 3. 見込める効果

効果・広く、多くの人に信憑性のある情報を伝達できる

- ・見た人の復興活動を起こすきっかけとなる
- ・継続的に情報を発信できる

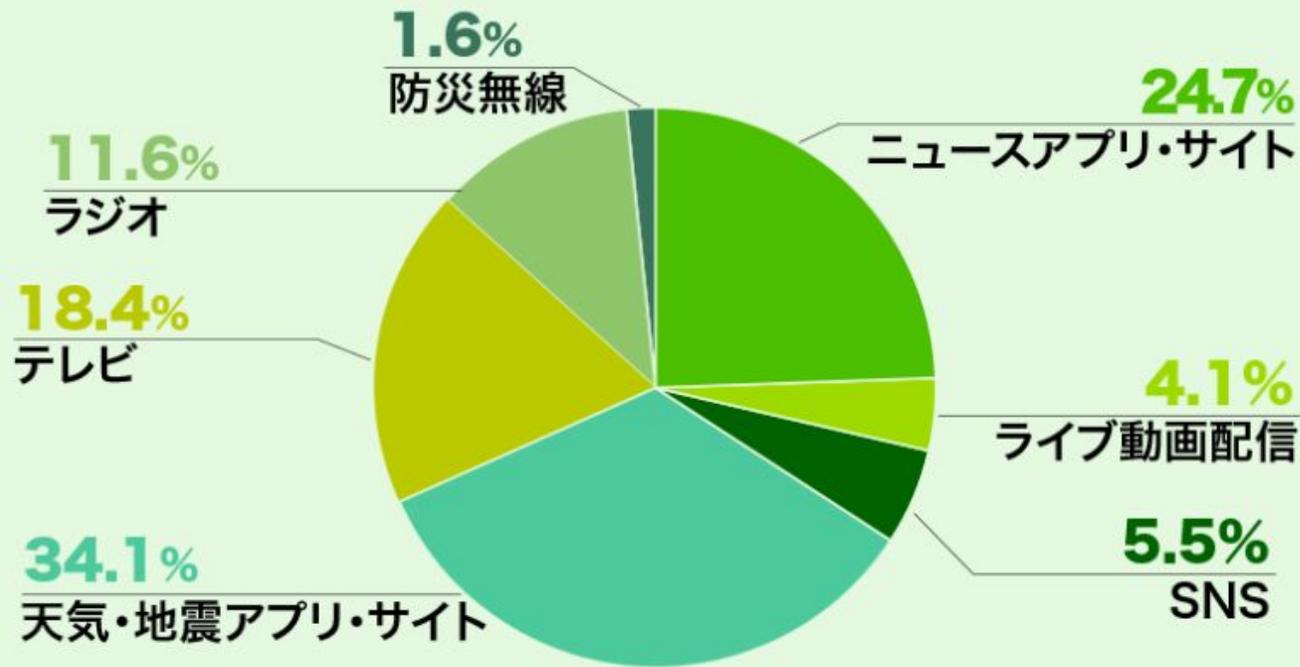
ニーズ

- ・SNSで情報を得る人たち
- ・協力してくれる企業(宣伝になる)



# 4. 災害の情報入手の手段

## 災害の情報入手の際、主に何を使いますか？



減災調査2024

byウェザーニュース

回答者数 19,193人

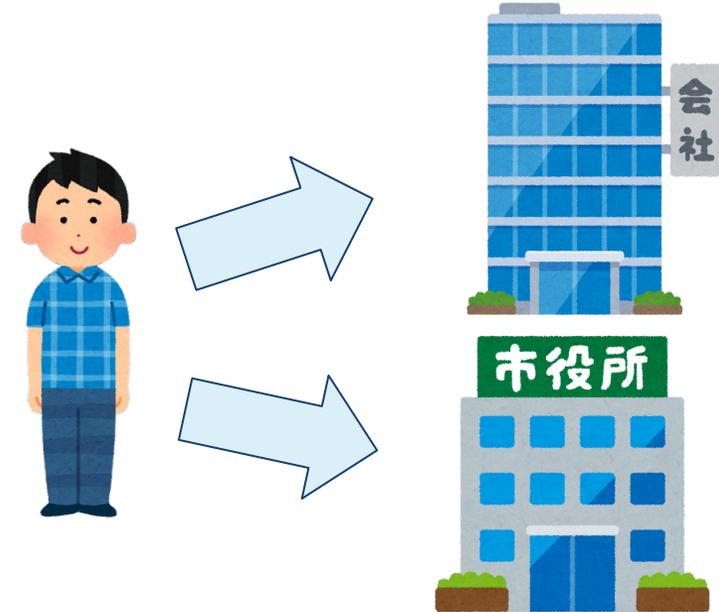
調査期間 2/28~3/3

# 5. 実施するために

①震災後、個人が震災状況を市や町の役所、企業に発信



市や町の役所、企業が送られた情報を発信



②有名な個人が被災地に実際に訪れてそこでの状況を発信



[https://www.sonymusic.co.jp/adm\\_image/common/artist\\_image/80008000/80008553/artist](https://www.sonymusic.co.jp/adm_image/common/artist_image/80008000/80008553/artist)



<https://acrylicrab.com/wp-content/uploads/2017/03/udo-suzuki-01.jpg>



<https://encrypted-tbn0.gstatic.com/images?q=tbn:ANd9GcQ4eanHawwpehoWL37d9F13aa8pJqjNCiP8hA&s>